

# 平成22年度 第5回男女共同参画推進計画策定委員会 会議録

日 時：平成22年8月25日（水）19：00～

場 所：改善センター会議室

<出席委員>五十嵐 真也、杉江 孝子、河瀬 智憲、沼宮内 徳  
大島 繁春、大西 慶子、榎 志津子、道見 孔明

<欠席委員>奥井 千英子、坂本 裕

<アドバイザー>帯广大谷短期大学 准教授 岡庭 義行

<事務局>山崎課長、阿部課長補佐、下浦主任、加藤主事、佐藤主事補

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 協議事項

### ①男女共同参画推進計画の骨子（目標）について

#### 山崎課長

前回の会議で内容を説明した「男女共同参画に関する住民意識調査結果」については、前回の委員会以降事務局で手直ししてまとめたものを公表している。広報の8月号・9月号でも取り上げている。その中に岡庭先生のコメントももらっており、結果からどのように感じられたか紹介している。

男女共同参画推進計画（仮称）では、具体的な事業だとか目標を設定するにあたり意識調査結果の中で反映されていることを取り上げる必要がある。つまり住民意識調査結果は、これから計画を立てるための基礎資料ということになる。

今日の会議の配布した資料は、村にある各種計画の一部を抜粋したものである。これらの計画と同様に男女共同参画推進計画を作るのだが、すでに他の計画の中で男女の共同・平等について取り上げられているものはかなりある。

村に今ある現在の計画は、農業関係の計画、学校教育関係の計画、社会教育関係の計画、障がい者計画、地域福祉計画、子育て支援計画などがある。この中で、男女共同参画推進計画において取り上げていかなければならないものは必然的に出てくるだろう。

まず、村の計画の中で最上位になるのが「中札内村総合計画」（平成21～25年度）になる。この中で男女平等参画についての項目が設けられている。男女平等参画の推進・男女平等参画のまちづくりをうたっていることから、男女共同参画推進計画についても策定することになる。さらに平成21～25年度までの具体的な目標設定としては、各種委員会委員の女性登用率を20%から30%へすること。男女平等参画基本計画（この委員会では男女共同参画推進計画（仮称））の啓発活動を年1回実施するという目標を掲げている。

「中札内村農業の発展方策」（平成19～23年度）は、農業女性の参画の確保がうたわれている。具体的な中身はアクションプログラム（行動計画）の中で、女性に対する各種研修機会の確

保、各種グループ・団体活動に対する支援・家族協定締結の推進の3点がうたわれている。

次に「中札内村地域福祉計画」（平成21～25年度）は、福祉全般・児童・障がい者・高齢者の項目ごとに分かれており、それぞれの中で男女共同についてうたわれている。

例えば福祉全般の項目では、相談窓口の設置やスクールカウンセラーの配置などの施策があり、これを男女共同参画に照らし合わせると、DVやセクハラなどの項目に取り上げられるだろう。

住民意識調査では、子育て・介護に関するサービスを充実するべきだとか、妻のほうが育児・介護につく割合が高いという結果が出ている。そこで高齢者福祉の基盤整備などを行ったり、保育所や子育て支援センターの機能を充実したりすれば、PTA活動なり地域活動なり趣味など、育児・介護中の妻が社会参加できるかもしれない。

「中札内村地域福祉計画」の下に「中札内村次世代育成支援行動計画」（平成22～26年度）がある。子育て支援の要素で、計画の中身は現在実施しているものと未実施のものがある。

教育の関係では「社会教育中期計画」「学校教育推進基本指針」がある。教育関係の計画で男女平等についてどのように捉えられているかを抽出したが、具体的なものはなかった。ただし、住民意識調査の結果で「幼少期から人権教育をするべきだ」とあったように、男女共同・平等参画も人権教育の一つであるから、子どもたちの人権に関するものを抽出した。

「社会教育中期計画」（平成21～25年度）では、「通学合宿」の家庭への感謝の気持ちを育むものや、「CAP」子どもの人権意識を高めるワークショップなど、少年教育、成人一般教育、家庭教育における中で人権に関する事業がある。

「学校教育推進基本指針」（平成20～29年度）では、地域で子どもを育てる環境づくりについて、家庭における教育力の向上についてなど書かれている。

北海道、帯広市、士幌町、芽室町の男女平等・共同参画の計画も参考にすると、体系は目標があり、その目標に対する方針・課題があり、そのための具体的な施策がある。

計画を立てるにあたり、目標から決めて具体的な施策を作るか、具体的な施策から目標を作り上げていくか、会長と副会長と岡庭先生と事務局で検討した。

先ほどの資料の説明のとおり、男女共同・平等に関するいろいろな施策・事業がすでにあるので、ボトムアップ方式として具体的な施策・事業をあげて、最終的に目標を固めてはどうだろうか。

そこで今回の委員会では、計画にぜひ載せるべきものや、他の計画に載っているもののさらに肉付けしたもの、新たな施策・事業の追加など、委員のみなさんからご意見をいただきたい。それをワークショップ方式で行い、メモしたみなさんの意見を分類してまとめていく作業を行う。

## 会 長

では、作業に入る前に何か質問やご意見はないだろうか。

## 委 員

「中札内農業の発展方策」の家族協定締結の推進という内容があるが、どのような内容なのだろうか。

## 委 員

農業は家族経営であるので、女性は男性の言うことを聞いて働けばいいというような昔の流れ

をなくし、女性も働いた対価をもらったり、経営も家族みんなで話し合っ  
て決めたり、生活も働き方もみんなで進めていきたいと思いますという  
ものである。

## **委員**

尊重していきましょうということで、理解した。

## **会長**

他に意見等ないようなので、作業に入っていく。

## **山崎課長**

みなさんに大きめの付箋用紙を配布するので、みなさんのご意見を  
20分くらいの間でできるだけ数多く出していきたい。そしてそれを  
同じような意見でまとめる。

(意見を出してもらい、それぞれ分類分け作業を行った)

(別添資料参照)

## **山崎課長**

今回まとめた意見は、事務局で文章にまとめて配布する。

## **4 その他**

### **①次回委員会について**

日時：平成22年10月6日(水)午後7時～

場所：改善センター会議室